

# 香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

## 「子どもたちの学びの可能性を広げる」GIGA スクール

教育委員会では、学校内の通信環境と、児童生徒 1 人 1 台のタブレット端末を整備し、従来の教育と組み合わせることにより、児童生徒の情報活用能力を高め、質の高い学びを実現させることを目指しています。

### タブレット端末を活用した学習

兎塚小学校は、今年度、デジタル教科書実証事業の重点校に指定されるなど、ICT 機器を積極的に推進する学校として、さまざまなことに取り組んできました。

まず、タブレット端末を「文房具」の一つとして活用できるようになることを目標に、全学年の授業で使用しています。

取り組み例として、デジタル手書きツールを使い、「オリジナル問題(算数)」「写真入り日記」「簡単なプレゼンテーション」などをタブレット端末で作成しました。作成したデータを友だちに見せながら、主体的に交流する子どもたちの姿が見られました。また、高学年では、プレゼンテーション作成ツールを使い、「修学旅行報告会」や「防災学習発表会」などプロジェクト型学習の発表方法の手段としてタブレット端末を活用しました。

このような取り組みにより、子どもたちの「調べたい」「まとめたい」「伝えたい」といった思いは、タブレット端末導入以前と比較し高まったように感じています。



▲1年生・デジタル手書きツールで問題作成



▲5年生・友だちが作成した問題に挑戦する

### 学校間スーパー連携チャレンジプランをオンラインで実施

スーパー連携チャレンジプランは、小規模校同士の学校間で連携して多人数を編成し、効果的な指導方法と授業内容を展開するとともに、確かな学力を身に付けることを目的に実施してきました。

しかし、コロナ禍の影響により多人数で集まることができなくなったため、チャレンジAグループ（奥佐津・佐津・柴山・長井・余部小）では、自校から Web 会議システムを活用し、学校間でテレビ会議を行いました。1～4年生の各学年では、モニター越しにお互いの顔を見ながら自己紹介をして交流したり、各学校独自の行事や取り組みを発表しました。5年生では、自然学校の最終日に5校間で「思い出ベスト3」を発表し、自然学校で学んだことの振り返りを行い、6年生では2～3校間で「5校連合修学旅行報告会」を行いました。モニター越しの交流でも相手を意識し、分かりやすく伝えるよう発表を工夫して意見交換を行うことができました。



▲5校間をつなぎ自然学校での学びを共有